

6.14 議員と市民の院内集会「核燃サイクル撤退のとき」質問項目

I 核燃サイクル政策について

1. エネルギー基本計画には「震災前に描いてきたエネルギー戦略は白紙から見直し、原発依存度を可能な限り低減する」と謳われています。「原発依存度の低減」とは、具体的に、何年で何パーセントの低減なのですか。
2. もんじゅが廃炉となった今、「エネルギー基本計画」を根本的に見直す計画はありますか。
3. 核燃サイクル政策全体にこれまでかかった費用とその内訳について、数字で示して下さい。今後、もんじゅの廃炉費用 3750 億円以上と、東海再処理工場の廃止費用 8000 億が加算されるという理解でよいですね。六ヶ所再処理工場は 40 年間操業後廃止とのことですが、この経費はどれ位と予測していますか。

II 新高速炉計画について

1. 新高速炉開発計画の目的は「(放射性廃棄物の) 減容」ですか「増殖」ですか。
2. 新高速炉もナトリウム冷却型を想定しているのですか。その場合、なぜナトリウム使用を選択したのかをお答え下さい。
3. 仏アストリッド計画にかかる費用を含め、新高速炉計画関連で経産省および文科省それぞれの程度支出をしてきたのかを数字で示して下さい。今年度予算も含めて答えて下さい。
4. アストリッドの実用化の見込みはあるのでしょうか。具体的にその可能性をお聞かせ下さい。
5. アストリッド開発に、現時点で約 5700 億円かかると試算されています。仏側はその半分を負担するよう日本側に要請しているようですが、そのような計画に対する 3000 億円近い負担をどう考えているのですか。
6. アストリッドは「タンク型」ですが、日本がこれまで目指していた「ループ型」とは異なり、全く整合性がないのではないですか。
7. 「タンク型」という概念設計そのものに致命的な欠陥があるとの指摘をする仏原子力物理学者もいます。どういった欠陥なのか把握していますか。把握されている内容を説明して下さい。
8. 常陽の炉心には固定ネジ 6 本が取り残されている状況であるため、運転をすることなどできないのではないかと。 *直径 6mm x 12mm 長さ*
9. 常陽の再稼働のための申請について、規制委員会は「ひどい申請内容」で保留すると厳しく批判しました。
 - ① どのように「ひどい申請内容」だったのか、具体的に教えて下さい。
 - ② 機構側は「このような指摘に至ったことを真摯に受け止め、適切に対応します」と述べたようですが、「適切な対応」とはどのような対応なのか、具体的に示して下さい。

III もんじゅ廃炉の諸問題

1. 放射性の(一次系)ナトリウムをどのように処理するのか具体的に説明して下さい。
 - ① 一次系ナトリウムの抜き取り技術は現在開発中という理解でいいですか。
 - ② その開発にはどれ位の費用と期間がかかる見込みか、具体的に示して下さい。

*→ 1700+ 危険な放射性 放射能ナトリウム
(廃炉 3650 億円 50%)*

景外 where?

2. 新燃料および使用済み燃料は (MOX とブランケット両方) どのように処理されるのですか。
3. もんじゅが廃炉となった今、RETF は解体になるとの理解でよいですか。
4. 廃炉中の安全対策について
 - ① 地震対策および津波対策の内容を具体的に説明して下さい。
 - ② もんじゅ廃炉に関わる新規制基準はできているのですか。

中味乱

900 Kw / 1300 Kw

高速増殖炉使用済み燃料再処理

IV 余剰プルトニウム問題

1. 昨年の院内ヒアリングでは、プルサーマル運転によるプルトニウム消費について「2015年という時期は見直す」と答弁されました。どういう見直しをしたのか、時期と量について具体的に数字を示して下さい。
2. プルサーマル運転で何年でゼロにする計画か、具体的な年数と消費量を示して下さい。
3. フランスではプルサーマルを続けていますが、結局プルトニウムも放射性廃棄物も増大し続けています。そうした現実を踏まえても尚、プルサーマルが有効であると考えますか。
4. 英国がプルトニウムを処理するビジネスと考えても良いと言っていることについて検討されましたか。
5. 海外にあるプルトニウムの管理・処理費用について調査しましたか。していない場合、なぜしないのか、また今後するつもりはあるのか答えて下さい。
6. プルトニウムの希釈処分 (ダウン・ブレンディング) によって米国が既に4トンの余剰プルトニウムを処分していること、そしてそのコストが MOX にかかるコストの3分の1であることを把握していますか。
7. 日本でも、この方法によるプルトニウム処分を検討および実施すべきではないですか。
8. これまでに常陽及びもんじゅで生成された高純度プルトニウムについて
 - ① それぞれの量について、シミュレーション結果を具体的な数字で示して下さい。
 - ② 常陽のブランケットから取り出したプルトニウムについて、前回の答弁はもんじゅの燃料に使用したのではとのことでしたが、あやふやでは困ります、常陽の取り出したプルトニウムについて、その量と純度、及び何に使用したのか、正確にお聞かせ下さい。

(原研委で検討は)

550-570kg 以降 乱
→ 18.8kg 乱

直接 4kg 乱

V 再処理の諸問題

1. 高速増殖炉が無くなった今、再処理を続ける意味は何ですか。
2. 使用済み MOX 燃料を再処理することはできるのですか。
3. 六ヶ所村再処理工場の地震・津波対策について
 - ① 冬期に尾駮沼が凍結し、その上を津波が遡上するケースを想定していますか。
4. 使用済み燃料の乾式貯蔵への移行状況はどうなっていますか。
5. 再処理よりも乾式貯蔵による保管・処分の方が低コストではないのですか。
6. 再処理工場にミサイルが着弾した場合の対策はどのように取られていますか。
7. 再処理工場の防災計画は半径 5km ですが、弾道ミサイル等による破壊に対しても防災範囲は変わらないのですか。